

4月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 平成29年4月14日（金）

2、閉会年月日 平成29年4月14日（金）

3、出席委員氏名

名倉 幸子 前川喜太郎 田中 久善

西畑 敦司

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 仲 谷 俊 充

事 務 局 参 与 西 本 宣 康

事 務 局 次 長 岡 本 匡 史

事 務 局 次 長 吉 岡 昌 則

教 育 総 務 課 長 西 岡 昭 人

生 涯 学 習 課 長 嶋 崎 博 康

文 化 財 課 長 松 本 洋 明

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長 西 田 智 也

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 土 田 裕 彦

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 教育長職務代理について

日程第3 議題 なし

日程第4 報告 平成28年度末教職員人事異動について

平成29年度幼稚園、小中学校教育推進計画

について（案）

6、会議の経過議題

開会 午後 3時00分

終了 午後 3時35分

1 教育長

ただいまから、4月定例教育委員会のほうを、開催させていただきます。

本日の署名委員は、名倉委員と前川委員にお願いいたします。

それでは、議事日程に入る前に、新教育委員さんと人事異動で事務局に転入しました部課長の紹介をさせていただきます。

まず、4月1日付で教育委員に就任されました西畑敦司さんです。

それでは、就任に当たってのご挨拶のほうをお願いいたします。

1 西畑委員

西畑でございます。この4月からということで、皆様よろしくお願
いいたします。

保護者の1人ということで、4人の教育委員の中の1人は保護者で
ということでしたので、私は10年ほどPTA活動にかかわってきま
して、そこら辺のところからいろいろ見させていただいたことと
か、あるいはまた、自分自身はITエンジニアというなりわいでやっ
ておりますので、そちらのほうからまたいろいろとお話できれば、
皆さんに少しでもお力になればと思いますので、ぜひとも、よろし
くお願いいたします。

1 教育長

どうぞ、よろしくお願いいたします。

次に、4月1日付で人事異動で教育委員会のほうに転入しました部
課長のほうを紹介させていただきます。

まずは、西本宣康参与です。西本参与は、図書館長のほうも兼務し
ていただきます。

1 事務局参与

西本でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1 教育長

よろしくお願いいたします。

続きまして、嶋崎博康生涯学習課長です。

1 生涯学習課長

嶋崎です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1 教育長

続きまして、西田智也教育総合センター所長です。

1 教育総合センター所長

西田智也です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1 教育長

それと、吉岡学校教育課長が次長に昇格されておられます。

1 吉岡事務局次長

吉岡でございます。本年も、よろしくお願いいたします。

1 教育長

これで新しいメンバーの紹介をさせていただきましたので、また、よろしくお願いいたします。

それでは、最初に日程第1ということで、私のほうから3月のほうの報告をさせていただきます。

一番主なもので、4日の市町村対抗子ども駅伝の結果のほうをお知らせしたいと思います。

オープンを入れて36チームが出たわけですが、天理市のほうは総合で、市町村全チーム、36チーム中8位ということで、昨年

行かせてもらったときは確か10位ぐらいだったので、頑張っていた
だいたと思っています。12市の中では6位ということで、頑張っ
ていただいていたうれしかったです。

その中で区間賞というもので、2位、3位、4位という子がいまし
て、一応、紹介させてもらいます。2位になったのはコジマ ユイさ
んと読むと思います。学校名はわかりませんが、区間7区で
1,800メートルを走って6分37秒ということで2位。あと、マ
エガワ ミクさんが5区を走られて3位ということでした。ナカネ
リョウスケくんという子が区間、最後8区で4位だったのですけれど
も、6分25秒なのですけれども、3位が6分24秒ということで1
秒差、2位が6分22秒なので3秒差ということで、ほとんど変わら
ないということでかなり頑張ってくれていたのを紹介させてもらいま
す。

いろんな関係者のご指導があつて、こういう結果が出たと思いま
すので、また、これからもいろんな指導と子どもたちが頑張っていく
のを応援していきたいと思っております。

それから、あと中学校の卒業式が15日にありまして、西中のほう
も、落ちついた厳粛な中で実施されました。そして、小学校の卒業式
のほうも、同じように大きい声で呼びかけとかをしていただいて、先
生方、西中も、丹波市小学校のほうも、これまでの3年間、6年間の
指導のたまものがあらわれていたと思います。

そして、19日午前「はぐ〜る」の開所式に参加した後、図書館
の大人に対するおはなし会というところに行かせていただきまして、
現代話集、脳を食べる話というふうな大人のホラーという感じのもの

を、どちらかといったらホラーとは言わないかわからないですけども、そういうお話を聞かせてもらいました。それは天理おはなしの会の主催で、大人向けの世界の昔話というものを朗読ではなくて暗記したものを話ししていただきました。なかなかおもしろいもので、こう言ったらやっておられる方に失礼なのですけど、アドリブのない落語といったらわかりやすいかと思うのですけれども。落語は適当に自分でアレンジされるのですけれども、一言一句間違わずにそのままを暗記して、私たちに紹介していただくというものです。そういうものに参加させてもらいました。

あと、28日には、ランドセルカバーのほうを、いわゆる安協というところからいただきました。

5日は、黄色いワッペン贈呈式のほうに参加させていただきました。こちらのほうは、保険会社さんから黄色いワッペン、黄色いワッペンには交通関係の保険がついているということで、そのとき初めて教えていただきました。

3月の私のほうの報告は以上でございますが、何かご質問はございますか。

1 田中委員

卒業式ですけども、北中学校、それから二階堂小学校ともに、厳粛のうちに大変すばらしい卒業式だったと思います。やっぱり先生方の思いがきちっとつながって、そして伝わって、本当に感動のある卒業式というふうに思っております。

以上です。

1 教育長

ほか、よろしいですか。

それでは、日程第2のほうに入らせていただきます。

教育長職務代理者の報告ということですが、3月31日までは退任された中嶋教育委員に職務代理者のほうをお願いしておりましたが、3月23日の臨時教育委員会で、4月1日からの職務代理者を名倉委員をお願いいたしました。西畑委員は、本日が最初の会議になりますので、改めて名倉委員に職務代理者をお願いしたことを報告させていただきます。ご了承のほう、よろしく申し上げます。

続きまして、本日の日程第3の議題のほうはございません。

次、日程第4の報告に移らせていただきます。

まずは、平成28年度末の教職員の人事異動についてということ、吉岡次長、よろしく申し上げます。

1 吉岡事務局次長

失礼します。

それでは、お手元の資料3ページをごらんください。

平成28年度末教職員の人事異動について、ご報告させていただきます。

県教委から出されました平成29年4月の教職員人事異動方針に沿って、ご報告させていただきます。

まず1つ目、年齢、性別、教科、勤務年数等を考慮した適材適所への配置についてということで、特に最近言われております司書教諭の資格を持った者を全校に配置するという、これをまず心がけて配置させていただきました。それから、男女比の改善、年齢にも考慮して実施いたしました。天理市だけではなく、全県的に見て中堅者、

ミドルリーダーの人材不足というのが見られるようで、ちょっと若い先生方とベテランの先生方の二極化というか、二層化というのも進んでいるのかなと思っています。

2つ目、同一校の長期勤務者の解消においてですが、あえて10年だから異動なんていうこともないかと思います。これは、あくまでも学校の現状を考慮してということだと思いますけれども、平成29年3月31日現在では、天理市においては、小学校で10名の方、中学校では9名の10年以上勤務者がおられました。今回の異動により、小学校では6名、中学校では3名、解消を図ることができました。若干まだ残っておられますけど、これはもうどうしても学校の状況ということで、残してほしいということもありましたし、本人さんのご希望等もあったからということでございます。

また、新採から4年以上の勤務者につきましては、初回異動ということで、県教育委員会が主導で再配置を行っております。小学校で6名、中学校で3名、他郡市のほうに再配置が行われました。市内全体の対象者の16.7%となっております。本来4年以上ですけれども、実質は6年以上が優先的に異動ということになって、4年、5年はそのまま残っている形が多いのかなと思っていますところでございます。

次、3つ目の女性管理職の配置につきましては、今年度は校長2名、教頭3名の5名が女性管理職で配置しております。

4つ目、人権教育、特別支援教育の充実と振興につきましては、県から児童生徒指導支援加配ということで県の人推ということですが、6名を市内6校に配置。また、市のほうで、人権教育推進教員、市担人推と呼ばれる者ですが、10名を市内8校に配置させて

いただきました。また、特別支援教育支援員を市内11校に配置しております。

次、5番目、幼児、児童、生徒指導の充実強化につきましては、福住小学校の複式学級解消のため、単年度として市担講師を1名配置しております。及び、県から少人数指導加配といたしまして、市内で22名の配置をいただいております。これをもって、学校教育の充実に努めているところでございます。

4ページのほうには、転出入の希望と成立状況を載せさせてもらっていますので、また、後で見ていただけたらと思います。

以上、平成28年度の教職員人事異動についての報告を終わらせていただきます。何かありましたら、またご質問ください。以上です。

1 教育長

今、報告がありました。何かご質問はございますか。

1 前川委員

福住小学校は、昨年度から複式が始まったと思うのですが、今回1名の配置で解消と書いていますけれども、全てが解消された。

1 吉岡事務局次長

複式がなくなりました。

県のほうの教員定数のほうが若干変わりました。去年は講師が1名入っていたのですが、その講師にかわって正規の職員が入ってくれました。それで、一応、音楽の講師の分がなくなったわけなので、もう何とか、複式解消を優先させましたので、音楽のほうは、福中の音楽の講師の先生を兼務していただいて、小学校の音楽の授業を見ていただくという形で今年度進めさせてもらいましたので、複式は今の

ところございません。

1 前川委員

全学年ですか。

1 吉岡事務局次長

全学年です。

1 前川委員

わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

ほか、質問はございますか。

田中委員。

1 田中委員

1点だけ。人事は大変難しいと思います。現状と課題のところ、
「入り希望がなく交流が成立しない」と。非常に残念な結果なのかな。
今後、転任で来たくないということなのか、もし、そうであるならば、
もっと魅力のある発信をしていくべきではないかなと思っております
ので、また、今後とも実践と検討をお願いしたいと思います。

以上です。要望でした。

1 吉岡事務局次長

郡山、奈良はあるのですが、天理、桜井、この169号線沿いが少
ない。郡山、奈良を越えたら、山辺とか宇陀のほうに飛んでいくので
す。規模的なこともあるのか、志願的なこともあるかもしれない、そ
れはわかりません。いつも桜井の学校課長と頭を突き合わせて悩ん
でいるところなのです。

1 名倉委員

先ほどミドルリーダーの数が結構少ないと、人数的にも少ないと思うのですが、やっぱり若手と、あと経験年数の多い先生を結ぶ重要なポストに当たられるので、そのミドルリーダーの配置というのも、これからすごく重要視されていくのではないかなと思って、人事は難しいですが、また、どうぞよろしく願いいたします。

1 西畑委員

西中のほうからどんな先生が出られて、入ってこられたというのを連絡いただいたのですけれど、いわゆる生徒によくつかれている先生が今回たくさん出られたような印象があって。先ほどミドルリーダーというお話もあるのでしょうけれども、学校の中で先生との結びつきというのがちょっと定着しにくくなってしまわないかなと。その先生方が出られたからというわけではないのですが、このところ、やっぱり入れかわりも多いような雰囲気もありますし、定年で出られてしまう先生方もたくさんおられて、やっと落ちついてきた校風というのがちゃんと受け継がれていくかなという不安感というのが、保護者の中にはあるような雰囲気を受けましたので、お話だけさせていただきます。

1 教育長

転勤のほうは、義務制の転勤というのは本人の意思のほう尊重されることになっていまして、それと、あと転勤することによって教師も成長することもありますので。言いたいのは、さっきの入りの希望とかがいろいろと入ってくるわけですが、学校ですっといいてほしいなとみんなが思われる方をそのまま希望を通してしていると、ずっといて長期勤務のほうになっていきますので、いつかは転勤していつ

もらって、そこでまた成長してもらって、また帰ってきてもらうということが理想かなと思うのですけれども、ただ人数が重なったということなのですね。

1 西畑委員

そうです。それで、今回は、割合、同じようなタイプの子がなつき
そんな先生というのが一遍に出られたような印象があるので、その先生
とかのプロフィールとかも考慮に入れていただけるとなと思います。

1 教育長

中学校のほうは、教科とかいろいろ入ってきますよね。

1 田中委員

今おっしゃっているのは、こういうことではないかな。かつて、本
当に子どもの指導をきちっとした先生がいた。しかし、10年がたっ
たから、異動したために西中が荒れたという、実際こういう問題があ
りました。そういうことが二度とないように、子どもとのかかわりを見
た上で、きっと校長先生が判断しておられると思うのですけれども、
10年だから出るということがないようにというふうにおっしゃって
いると思います。10年だからという枠は、ある程度、柔軟性がある
のですよね。その辺も学校長がきちっと見ておられると思うのですけ
れども、今後、きちっと学校の状況を見ていってほしいという要望だ
と思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

1 教育長

次の報告に行かせてもらって、よろしいですか。

それでは、次は、平成29年度幼稚園、小・中学校教育推進計画に

ついてということで、また、吉岡次長お願いします。

1 吉岡事務局次長

それでは、まず、お手元資料5ページの平成29年度幼稚園推進計画のほうからなのですけれども、幼稚園、小・中学校推進計画、両方ではございますけれども、両方とも県から出されております学校教育の目標及び指導の重点、あるいは平成29年度の天理市教育方針、あるいは昨年度作成されました天理市教育大綱を踏まえた上で、今年度も作成しております。

昨年度は、教育大綱との絡みで、若干内容を修正させていただきましたけれども、本年度は、昨年度と大きく変わっておりません。特に、重点的に取り組みを進めていきたいなという点について、ご報告させていただきます。

それでは、5ページの幼稚園教育推進計画からごらんください。

5ページは変わっておりません。特に、7ページをあけていただいたらと思います。

7ページの2番目、研究・研修の推進という項目があります。これも変わってはいないのですけれども、特に、このところで今年度、園研究主題の設定と個人研究の推進というところで、特に、幼稚園のほうも、新しい保育サポート、講師の先生が最近ふえております。ということで、個人の力量を上げるということも、やっぱり幼稚園教育の中では課題の1つになってきております。

そこで、園の研究主題の設定をもとに、その設定から個人研究の推進ということで、個人の研究主題を設定してもらおう。そして、その設定の進捗状況を面談等で管理職とともに確認していく、そういう作業

も必要になってくるのではないかなということ、そういうところも幼稚園の現場のほうにおろしていけたらなと思っております。

次、その下（５）の発達や学びの連続性を踏まえた教育の充実というところで、特に幼稚園と小学校の円滑な接続という点で、昨年度から丹波市幼稚園と丹波市小学校の間で進めております、幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ幼・小接続事業というのをやっております。今年度、県のほうでも発表するわけですがけれども、その成果を市内全体で共有していけたらなと思っております。そしてまた、幼稚園だけじゃなく、保育所でも、そういう連携をつくっていけるような研修の場を設けていけたらなと考えているところでございます。

また、その下の（７）というところで、特別支援教育の推進というところなのでありますがけれども、ここ７年かは、幼稚園の各クラスを担任と保育サポートの講師２名で担当するという体制をとっております。特に、個々の特性に即した支援、指導を行うに当たっては、担任と保育サポートのやっぱり意思の疎通、連携ということが非常に重要になってきます。連携がうまくいかなかったら、何のために２人入れているのかとなりますので、互いに情報を共有し、連携した指導体制を構築して進めていくことを、再度、確認していきたいと思っております。

それが幼稚園のところになります。

次、９ページ、小・中学校の教育推進計画についてですがけれども、９ページの基本方針といたしましては、今年度も４つ、生きる力の育成、①ですがけれども、２つ目、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成のバランス重視。３つ目が、道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体の育成。４つ目が英語活動の充実とコ

コミュニケーション能力の育成という4つの柱で実践を積み上げてまいりたいと考えております。

また、11ページをごらんください。

11ページの中ほどに、2 研究・研修の推進というところで、(1) 学力向上のための授業指導法の研究においてということで書かれております。これは、常日ごろ、教育長がいろいろな場面でおっしゃっていただいているところを具体化して、黒丸3つで今年度は具体的に示させていただきました。まず1点目は、生活習慣及び学習習慣の確立、自尊感情の向上、学ぶ目的意識の醸成。2つ目が、「わかる授業」、「児童生徒の主体的な学び」の実現。3つ目が、言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成。こういう具体的な項目で、各学校で取り組みを進めていただけたらなと考えております。

続きまして、12ページ最後のところでございます。今年度から、スクールソーシャルワーカーの巡回派遣を行うという事業を進めることに当たりまして、そこに後ろ4行をつけ加えさせていただきました。学校における相談体制を整備するという意味で、内容をつけ加えさせてもらっておりますので、ご確認いただきたいと思います。

なお、ここから以降の15ページを見ていただきますと、15ページの中段あたりに「4→8」と書いてあります。4月から8月にかけて、来年度から小学校の道徳の、教科書の採択の年度になっております。また、委員の皆様には、採択委員として何度かまた参加していただくことがあるかと思っております。道徳1教科ですので数はそんなにたくさんないわけですが、夏休みの間に2回ないし3回ぐらい来ていただかなくてはいけないこともありますので、また、日程調整のほ

うを連絡させてもらいますけれども、ご協力のほど、よろしくお願
い
します。

以上でございます。

1 教育長

ありがとうございました。今、報告がありました。何か質問はござ
いますか。

1 名倉委員

まず、7ページの園の研究主題のことですけれども、研究主題とい
ってもいろんなことがあるのですが、例えば、これはどんな感じなの
ですか。

1 吉岡事務局次長

先生方一人一人にもよるかと思えますけれども、例えば、園で1つ
の研究主題があると。その研究主題に向けて、自分の学級の子どもに
対して、どう支援、指導していくのかということ、個々の先生方が
やっぱり考えて、主題を設定していく。

1 名倉委員

今まで、どんな主題がありました。具体的にちょっと。

1 吉岡事務局次長

テーマがありますね。生き生き何々とかいうキャッチフレーズが幼
稚園ごとにありますので、言葉で伝えるとか、伝え方を学習するとか、
自分の思いを相手に伝える、そういうのに重点を置くとか、そういう
研究主題が最近多いです。

1 名倉委員

園の研究主題といたら物すごく具体的なものなのか、それか、割

合、抽象的なものなのか。

1 吉岡事務局次長

全体的には抽象的だと思います。だから、今言ったみたいに、自分の思いを周りのお友達に伝えるといたら、そしたら自分の園の中、自分の学級の中では、日々の活動で何を大事にしていくのかということをご自身の目標として、遊びの後のお互いの意見交流を大事にして、こういうところで子どものこういうのを育てたいというような個人のテーマを設定してもらえたら、ありがたいなと思います。

1 名倉委員

それによって、職員の先生たちが話すことによって、また課題とかも浮き上がってきたりするので。

1 吉岡事務局次長

先生方も、自分の意識の改革にもなるやろうし、研修にもつながっていくのかなと。それが楽しかったら、それでまた話し合いしてもらったらいいのかなと思っています。

1 名倉委員

わかりました。

それと、もう一つ済みません。10ページの英語教育のことなのですが、やはり英語教育というのは、国語、数学とまた違って、新しく子どもたちに教える、それから社会人になって今すごく必要とされていることでもありますし、成長段階では、小・中・高でも、もちろん大学でも、英語の必要性というのがすごく取り上げられていますので、やっぱり教え方、国語、算数とまた違った重要視というのか、そういうのも必要じゃないかなと思うのです。子どもが楽しく、まずは取り

組めるということを重点的に置かれて、小学生の場合、教えていただきたいなと思います。天理市の長所につながる、英語が充実した天理市とかいう、そういうのもまた未来的に考えて、伸びていったらいいかなと思います。

以上です。

1 教育長

英語のほうは、東京オリンピックのときからで、2020年から入るわけです。来年度から計画はしておりますけれども。今、先にモジュールというやつで、15分ずつを週に3回というのを計画していただいて、櫛本小学校で案を見せてもらったら、小1ぐらいだったら色のやつとか、それはDVDを聞きながら、音楽を聞きながら発音するような練習とか、あと算数の掛け算とか割り算とか、難しくないのかと思ったのですけれども、それも興味を持ってやっているらしいです。

あとは、今、福住小学校のほうでオンライン英会話をやっておりますので、それと同じものを、英語の先生も何人かオンライン英会話を研修でやっていただこうと思っております。何人かの先生、2020年を前に研修のほうをしていただいておりますので、楽しいやつになればいいのですけれども、中学校に入るまでに英語嫌いをつくらないようにということをお願いしておりますので。

1 名倉委員

また、先生のいろんなアイデアを持ち寄りながら、天理独自の英語教育というのを進めていかれたらいいかなと思います。ありがとうございます。

1 教育長

教育委員会とは関係ないですけれども、天理大学のほうで、天理イングリッシュ・ヴィレッジというのをしていただくということになって、きょう校園長会のほうで、小・中学校の先生も行かれたらということで紹介させてもらいました。

ほか、何かご質問はございますか。

1 田中委員

聞き逃したかもわかりませんが、7ページのところの発達や学びの連続性というところで、これは小学校に入ったときに、幼稚園から来た子と保育園から来た子の違いが、今あるかどうかはわかりませんが、幼保連携のこともあるので、ここをやっぱりうまくかみ合わせながらしてやらないと、連続性がうまくいかないのと違うかなと思いました。

もう1点は、いよいよ道徳の話が出てきました。道徳は、どのように評価をしようとしているか。もし、今あれば、教えてください。

1 吉岡事務局次長

市として、ある程度、一定的な方針を出していかなければならないかなと思いますけれど、文章表現ということが基本的にありますので、子どもたちの学習の中でいろいろな教材を使って、重点項目、文科省に挙げられている項目にどのように迫っていくかということだと思います。教材を通して何を教えるのかというところを、しっかりとやっぱり指導する立場の者がわかった上で指導していかないと、評価もできませんので、そういうところがやっぱり、今年1年かけて、道徳部のほうも研修を進めていけたらなと考えております。

1 田中委員

ありがとうございます。何を教えるかということがメインに、何を

伝えるのかとか、これが非常に大事なことで、また研究と実践を積み上げてください。

以上です。

1 教育長

ありがとうございます。

よろしいですか。前川委員のほうは、いいですか。

それでは、ご質問がないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

閉会 午後 3時35分